

地球温暖化対策に関する取組の経緯

1 愛知県の地球温暖化対策に関するこれまでの取組

○1994年3月に県の地球温暖化対策を体系化した「あいちエコプラン21」を全国に先駆けて作成し、現在は2018年2月に作成した「あいち地球温暖化防止戦略2030」に基づき、取組を進めている。

【本県の地球温暖化対策に関する計画作成の経緯】

作成年月	計画名	目標年度	目標
1994年3月	あいちエコプラン21	2010年	数値目標なし
2000年3月	あいちエコプラン2010	2010年度	2010年度に1990年度比6%削減
2005年1月	あいち地球温暖化防止戦略	2010年度	2010年度に1990年度比6%削減
2012年2月	あいち地球温暖化防止戦略2020	2020年度	2020年度に1990年度比15%削減
2018年2月	あいち地球温暖化防止戦略2030	2030年度	2030年度に2013年度比26%削減

【あいち地球温暖化防止戦略2030の概要】



【先導的・独自の取組による成果】(国内トップクラスの実績)

◎再生可能エネルギー導入容量は全国第2位

- 太陽光(住宅用):件数・容量全国第1位
- 太陽光(業務用):件数全国第1位(容量全国第10位)
- バイオマス:件数全国第2位(容量全国第1位)

◎ゼロエミッション車の普及台数は全国第1位

- 普及台数:25,294台(全国第1位)
- 水素ステーション:37カ所(全国第1位)

2 国の削減目標引き上げ

○国は、2020年10月「2050年カーボンニュートラルの実現を目指す」ことを宣言するとともに、今年4月には、「2030年度に、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けていく」と、気候サミットにおいて国際社会に表明した。

2013年度温室効果ガス排出量:14億 800万t(CO₂換算)



※46%削減: 6億 4,800万t(CO₂換算)

2030年度温室効果ガス排出量: 7億 6,000万t(CO₂換算)

【46%削減の内訳】

- ① 電源構成の見直し
 - 再エネ比率を36%~38%に拡大(現在 約18%)
 - ・風力発電所のアセス要件の見直し
 - ・地球温暖化対策推進法の改正 など
 - 火力発電比率を、40%程度に縮小(現在 約76%)
 - 水素・アンモニア発電の導入
- ② 省エネ対策
 - 産業設備のインバーター導入による省エネ
 - 住宅・建築物・運輸の省エネ対策強化 など

3 カーボンニュートラル実現に向け企業・団体から事業・企画アイデアの募集

○国の動きを踏まえ、「あいち地球温暖化防止戦略2030」を加速し、新たな取組を具体化していくため、「カーボンニュートラルの実現に資する具体的なプロジェクト案」について、企業・団体から幅広い事業・企画アイデアの募集を、本年6月9日から行った。(6月9日発表済み)

- 学識経験者で構成する「あいちカーボンニュートラル戦略会議」を立ち上げ、提案されたアイデアについて意見を聞き、事業化すべきプロジェクトを選定
- 個別アイデアごとに研究会を立ち上げ、プロジェクトの事業化を支援



民間の優れたアイデアを具体化し、実践することにより、
カーボンニュートラルの実現を目指す